

消防団の気になること、 教えちゃいます!



Q1 訓練って大変そう…

A1. 揖斐郡三町では、操法大会が廃止され、負担の大きい訓練はなくなりました。現在は、必要な訓練等を実施しています。



Q2 報酬ってちゃんともらえるの?

A2. 年額報酬に加えて、災害出動・警戒・訓練などの活動ごとに支給されます。多年勤務して退団した時には、条例に基づき在籍年数等に応じた報償金があります。

Q3 年間スケジュールってどんな感じ?

A3. 月に2~3回程度の訓練や行事、防災活動などがあり、予定も基本的にあらかじめ共有されるので、家庭や仕事と調整しやすいです。

Q4 制服とか装備って自分で購入するの?

A4. 制服・装備はすべて貸与され自己負担はゼロです。ご安心ください!



Q5 若い人や女性でも大丈夫?

A5. 揖斐郡では若い団員も参加し、女性は主に広報活動をして頂いております。経験や体力がなくても問題はありません。若い方・女性の参加をお待ちしております!



Q6 火事が起きたらすぐ出なきゃダメ?

A6. いいえ、まずは、都合のつく人が出動します。仕事や家庭の事情で難しいときは、無理に出る必要はありません。

Q7 どんな人が入ってるの?

A7. 会社員・自営業・学生・子育て中の方など、年齢も職業もさまざま。みんなが「できる範囲」で協力しています。

Q8 興味はあるけど、断れなくなりそう…

A8. 消防団への参加はあくまで自由です。団員に直接聞くのが不安な方は、お住まいの町の担当窓口までお気軽にお問い合わせください!



(問い合わせ先)

- 揖斐川町 総務部 総務課 0585-22-2113
- 大野町 総務部 総務課 0585-34-1111
- 池田町 総務部 総務課 0585-45-0731

※報酬額・手当・退職金の有無、訓練頻度、イベント参加数などは町によって異なります。
※詳しくは、お住まいの町の担当窓口へ!

発行元 消防団員確保推進揖斐圏域協議会
(岐阜県、揖斐川町、大野町、池田町、揖斐郡消防協会)



大切な揖斐郡を
私たちの手で
守る



消防団員募集中!!

消防団員確保推進揖斐圏域協議会
(岐阜県、揖斐川町、大野町、池田町、揖斐郡消防協会)

消防団員のリアルな声、伺いました。

消防団を知ってもらいたい



揖斐川町消防団 大深分団 団員
クロズデル・マシュー・ロバートさん



大野町消防団 第1分団 団員
桑原 悠弥さん



池田町消防団 第4分団 班長
香田 博昭さん

Q1 消防団に入ったきっかけを教えてください

香田 博昭さん (池田町消防団)

岐阜市から出身地の池田町に戻って2年ほど経った頃、地元の方に声をかけてもらったのがきっかけです。兄も消防団に入っていたので、特に断る理由もなく入団を決めました。

クロズデル・マシュー・ロバートさん (揖斐川町消防団)

妻と谷汲に移住し、近所の人に声をかけてもらったことで、子どもの頃ボーイスカウトをやっていた経験があったこと、何より地域の人のつながりを広げたいという気持ちが強かったので、二つ返事で入りました。

Q2 活動していてどんなやりがいを感じますか?

クロズデル・マシュー・ロバートさん (揖斐川町消防団)

パトロールやポンプの使い方など、新しい発見の連続でとても面白いです。以前は英会話講師として働いていたので、消防団のようなこれまでとは違う環境で、人との接し方やコミュニケーションのスタイルを学べるのも新鮮で刺激になっています。

桑原 悠弥さん (大野町消防団)

訓練は正直しんどいこともありますが、終わった後の達成感がすごいんです。そのおかげで「次も頑張ろう」と前向きになれます。



(消防団による出前講座の様子)

Q3 印象に残っているエピソードはありますか?

桑原 悠弥さん (大野町消防団)

年明けの出初式に、OBの方々や団員の家族だけでなく、地域の方もたくさん来てくださることに驚きました。毎年恒例の行事ですが、これほど多くの方に興味を持っていただけているとは思っていませんでした。



(辞令交付式の様子)

クロズデル・マシュー・ロバートさん (揖斐川町消防団)

谷汲の消防団では入団後「谷汲踊り」にも参加しますが、最初は外国人である自分が日本の伝統文化に参加することに少し戸惑いがありました。でも、今では練習にも楽しく参加し、消防団を通して地域の輪に入れてもらいました。

Q4 団員同士の絆や雰囲気について教えてください

香田 博昭さん (池田町消防団)

訓練中はみんな真剣ですが、それ以外ではオンオフをしっかりと切り替えています。年齢関係なく冗談を言い合ったり、とても仲が良い雰囲気です。

桑原 悠弥さん (大野町消防団)

訓練中は緊張感がありますが、休憩中や訓練後は和気あいあいとしています。私の所属する分団では最近では訓練後の飲み会はなく、歓送迎会や忘年会、それに奥さんやお子さんも参加できる家族会など、個人や家族の生活に配慮したイベントが中心です。



(水防訓練の様子)

Q5 仕事や家庭との両立はどうしていますか?

桑原 悠弥さん (大野町消防団)

第1分団では普段は月に2回ほど土曜日に訓練があるので、特に問題はありません。皆が参加しやすいようにアンケートを取って日程を調整してくれるので、とてもありがたいです。

香田 博昭さん (池田町消防団)

月に一度の点検日や日曜日の訓練は、事前に予定が出るので家族に伝えておきます。今年から班長になり、勤務先にも相談して、緊急時は消防団の活動を優先できるように承諾してもらいました。夜中のサイレンで出勤する時も、家族は「安全に帰ってきてね」と快く送り出してくれます。

Q6 揖斐郡消防団ならではの魅力は何ですか?

香田 博昭さん (池田町消防団)

救命救急のAEDの操作方法など、いざという時に役立つ講習があることです。一度でも触ったことがあるのとないのでは、いざという時の対応が全然違うと思います。

クロズデル・マシュー・ロバートさん (揖斐川町消防団)

毎回いろんな人と出会い、コミュニティが広がるのが魅力です。火災の知識だけでなく、キャンプでのロープの結び方など、普段の生活でも使える知識や技術を、団員同士で教え合いながら楽しく学んでいます。

Q7 これから入団を考える人へメッセージをお願いします

香田 博昭さん (池田町消防団)

消防団に入って、他の団員のお子さんが自分の子どもと同級生だったり、地域でのつながりが増えたりと、毎日がより充実しました。とりあえず3年間の任期ですが、強制的なことは全くないので、困ったことがあれば気軽に相談してください。



(いけだ消防フェスタの様子)

桑原 悠弥さん (大野町消防団)

昔に比べて訓練の回数は減り、現在は月に2、3回程度です。予定も分かりやすいので安心してください。訓練に参加すれば報酬もしっかり出ますし、実は運動が苦手な私でも何とかついていけています。不安に思っている方も心配いりませんよ。

揖斐郡消防組合消防本部からのメッセージ

小倉 健司さん (揖斐郡消防組合消防本部)

揖斐郡は山間部が多いため、山間地の捜索などでは「消防団と地域のネットワーク」が早期発見に大きく貢献してくれています。大地震や災害が発生した際、広大なエリアをカバーする常備消防だけでは対応しきれないこともあります。そのような時に、最初に現場に到着し、救援活動を助けてくれる消防団には大きな期待を寄せています。

昔と違って強制的な活動はなく、参加できる時に参加し、「仲間との輪」も広がります。社会貢献と難しく考えず、「ライフワークの一つ」として参加してもらえれば、きっとその活動の中にやりがいを見つけられると思います。

